

教科(科目)	芸術（美術Ⅰ）	単位数	2単位	学年(コース)	1年生
使用教科書	高校生の美術1（文教出版）				
副教材等	なし				

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、創造的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を目指す。

2 指導の重点

- ・基本的な用具の使い方を学び、正しい使い方を理解する。
- ・物の形を理解し、デッサンなどで、正確な描写力を育てる。
- ・色彩について、表現にあった着色ができるように、基本的な要素について理解する。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・対象や事象を捉える創造的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技術を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・鉛筆をカッターで削り的確な削り方 ・着色がムラ無くできるか ・意図に応じた色彩の構成 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組の観察 ・自ら表現したい主題へのアプローチ ・主題にあったデザイン などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・丁寧な仕事 ・他の作品を鑑賞し良さを感じ方。 ・作品の完成度。 などから、評価します

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	オリエンテーション	1「絵画」		美術を学ぶ上での決まりの説明等	a, b b c	・授業を行上での理解ができる
	色彩について	9「絵画」				・ワークシート
	平面構成	16「デザイン」	平面構成	・様々な色について、理解を深める ・曲線と直線により画面を構成し着色する。	a, c a b a	・デザインの決まりを理解している
	鉛筆デッサン 水彩画（静物）	2「絵画」 11「絵画」		・物の見方を理解する。 ・水張りをしたパネルに描き着色する。 ・お互いの作品の良さを取り上げ、鑑賞カードにより提出し、また芸術作品を紹介する。	b c c	・技法を学び正しく水張りができる
	鑑賞	2「鑑賞」			a	・友人の作品の良さを理解できる
	ペン皿の制作	10「彫刻」		・彫刻刀で木材を決められた深さまで彫る。 ・着色することで美しく仕上げる	a	・安全な用具の使い方だてき確に作業することができる
	リンゴの制作 (木)	1「絵画」 1「絵画」 1「絵画」 10「彫刻」 2「彫刻」 4「絵画」		・決められた大きさの中に形をデッサンする。 ・バルサ材に実際に下描きをする。 ・下描きを基に形にそってノコギリで面取りをする。 ・小刀・紙ヤスリで仕上げる。 ・ヘタを作る。 ・着色して完成	c b c	・課題の提出 ・取組み状況取組み ・状況取組み状況 ・作品の提出

計 70 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

- ・最後まで作品を丁寧に完成させてください。
- ・作品は期限を守り提出してください。また後片付けをしっかりとってください。

7 担当者からの一言

ものを作る楽しさ、感動する喜びを味わってください

